

第1学年 社会科（地理的分野）学習指導案

日時・場所 平成21年7月8日（水） 5校時 1年C組教室
生徒 1年C組（男子18名 女子13名 計31名）
指導者 小笠原 聡

1 単元名 単元名 第2編 地域の規模に応じた調査 第1章 身近な地域の調査

2 単元について

(1) 生徒について

生徒は男女ともに社会科の学習に意欲的である。男子は発言には積極的であるが、ややもすると学習内容から逸脱しそうになるときもある。女子には自分なりの考えをしっかりと持ち、まとめることができる生徒が見られる。

これまで中学校に入学してから社会科の学習において、課題解決型の学習を行ってきており、自分なりの予想を立て発表することには定着が見られる。本単元では久慈市民として生活して感じていることなど、中学生としての自由な発想を大切にしながら学習を進めていきたい。また、生徒の保護者にも協力をいただき、久慈市についてアンケートに回答していただき、自分なりの目線だけでなく大人の考えとしての久慈市のプラス面、マイナス面についてもつかませたい。

生徒の基礎基本の定着状況については、1学期中間テストにおいて、社会的な知識、理解に関する問題に関しては高い正答率であったが、資料活用の技能、表現に関する問題での正答率は決して高い内容ではなかった。また、グループごとに話し合ったり、討論したりする授業は入学して以来初めてとなり、フィールドワークなども行っていない。そこで、発言するときのルールを含めて、話し合いや討論の進め方について丁寧な指導をしていきたい。

(2) 教材について

本単元は、学習指導要領地理的分野 2 内容（2）アに書かれているように、「身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めさせるとともに、市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけさせる。」学習をする。それゆえ、久慈市を取り上げ、地域的特色をとらえる視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけさせることが必要であり、資料活用の技能、表現を高めることに重点が置かれている。また、現在の久慈市を見直し、将来の久慈市について考えることは、久慈市への理解と関心を深める手立てである。

そこで、「よりよい久慈市をつくろう」という探求課題を設定し、中学生として、久慈市の現在の様子を調査、分析、考察し、将来の久慈市を支える可能性のある久慈市民の一人として、久慈市の将来の発展を考えさせ、また、それを発表、討論することによって単元の目標を達成させたい。

(3) 指導にあたって

久慈市は、山形村との合併を終え更なる発展を目指している。自分達が住む久慈市の将来について、久慈市民として、また中学生としての立場からよりよい久慈市について考えさせたい。

本単元の指導に当たって、本時を迎える前までに資料をもとに久慈市の現在の様子を調べさせ、課題点等を考え、クラスごとに絞込みを行わせた。その後、グループごとにその課題を改善するために様々な資料をもとに案を練りあわせた。本時ではそれを発表させ、討論することで「よりよい久慈市像」をさらに深めさせたい。

さらに、本時の学習では、学習の深まりを持たせるため、生徒の発想を机上の空論にしないためにも、市役所の職員の方から評価と助言をいただく。このことが生徒の意欲の向上に結びくと考える。真剣な雰囲気の中、久慈市の将来について真剣に考え、討論したり、相手に伝わるように自分の考えをまとめたりする活

動を仕組むことで、本校研究主題の『「確かな学力」をはぐくむ授業をめざして ～各教科における「言語活動」の充実を通して』にもつながると考える。

3 単元の目標

(1) 【社会的事象への関心・意欲・態度】

久慈市民として、よりよい久慈市について真剣に考えようとする。

(2) 【社会的な思考・判断】

久慈市の地理的事象から見いだした課題をもとに久慈市の特色をとらえ、どのようにすれば久慈市の発展につながるか考えることができる。

(3) 【資料活用の技能・表現】

縮尺・等高線・地図記号の情報の活用や、新旧の地形図の比較を行い、グループごと、学級ごとの討論や学習内容を生かしよりよい久慈市についてまとめたり、発表したりすることができる。

(4) 【社会的事象についての知識・理解】

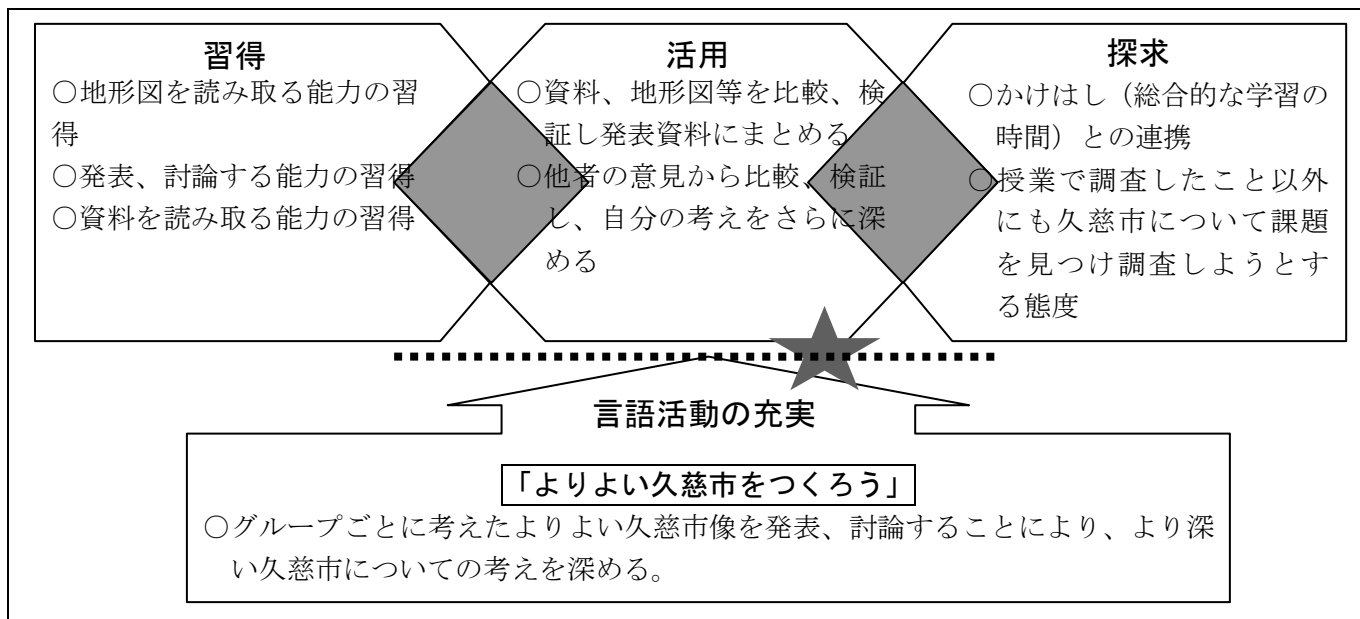
久慈市の変化や特色、課題と今後の発展のために必要なことがわかる。

4 単元の指導計画・評価規準（8時間扱い）

(1) 単元全体の評価規準

時間	学習内容	評価規準			
		社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
1・2	・本単元の学びの全体構想の提示（0.5時間） ・久慈市についての共通学習（1.5時間）	学習の全体構想を知り、よりよい久慈市について関心を持つことができる。	久慈市の新旧比較から、よりよい久慈市について考えることができる。	地形図や資料を活用して、久慈市の現在の特徴をとらえることができる。	地形図の見方がわかる。
3	久慈市の現状の把握と、個人による久慈市のプラス面、マイナス面の探求	個々に、意欲的に久慈市のプラス面、マイナス面を探ることができる。	久慈市のプラス面とマイナス面を個々で探し、よりよい久慈市をイメージできる。		
4	クラスごとの久慈市の課題点の把握と絞込み			資料をもとに久慈市の課題点を捉えることができる。	
5	グループ編成と久慈市の課題克服についての話し合い	積極的にグループの話し合いに参加することができる。		資料をもとに課題解決のための案をグループごとにまとめることができる。	
6 本時	グループごとのよりよい久慈市像の発表と討論		他のグループの意見や、市役所職員の方の評価を聞いて自分のグループの提案を深めることができる。	グループでまとめた意見を相手にわかりやすく発表することができる。	
7	具体案のクラスレベルでの決定	よりよい久慈市像について、真剣に考えることができる。	他者の意見も参考に、よりよい久慈市像を考えることができる。	クラスのよりよい久慈市像をまとめることができる。	

(2) 単元における「習得」「活用」「探求」の学びの流れと、言語活動の充実をはかる手立て



5 本時の指導

(1) 目標

- ① グループごとに自分たちの考えるよりよい久慈市像について資料にまとめ、相手にわかりやすく発表することが出来る。
(資料活用の技能・表現)
- ②他のグループの意見や市役所職員の方の評価を聞いて、自分たちのグループの意見を見直し、新しいよりよい久慈市像について考えることが出来る。
(社会的な思考・判断)

(2) 具体的評価規準

評価の観点	具体的評価規準		
	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：努力を要する生徒への手立て
資料活用の技能・表現	久慈市の課題について、より効果的に相手に伝わるように発表することができる。	資料をもとに相手に分かるように工夫して発表することができる。	資料活用と発表の方法について指導する。
社会的な思考・判断	他のグループの提案や意見、職員の方の評価を取捨選択し、より深く久慈市像について考えることができる。	本時の学習を生かし、よりよい久慈市像について考えることが出来る。	よりよい久慈市像について視点を与える。

(3) 指導の構想

これまで自分達のグループで考えてきたよりよい久慈市像を相手に伝わるように工夫して発表する場面、他者から評価される場面を作ることによって、さらに自分達の将来の久慈市像について考えを深めさせる。

- ① 前時までの学習内容を振り返らせる。
- ② グループごとによりよい久慈市像とそれを実現させるための具体案を発表させる。
- ③ グループごとに他のグループの提案の良い点、課題点を考えさせ、それをもとに討論させる。
- ④ 市役所職員の方から評価をいただき、自分のグループの久慈市像をもう一度振り返らせる。

(4) 展開

階 段	学 習 内 容	学 習 活 動	指導の留意点と 評価の工夫 ☆留意点 ◎評価
導 入 5 分	1. 前時の想起 2. 学習課題の確認 【学習課題】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 自分達の「よりよい久慈市像」をさらに深めよう </div>	1 前時までの学習内容を発表する。 2 課題を確認し、記入する。	☆ 前時までに学級で確認した久慈市の課題点について確認させる。 ☆ 本時の学習課題を確認させる。 ☆ 市役所職員を紹介する。
展 開 40 分	3. 各グループの発表 4. 討論 5. 専門的な視点からの意見と評価	3 限られた時間の中で資料をもとに発表する。 4 それぞれの発表と自分達のグループの提案を比較し、共通点、相違点、取り入れたい点を発表する。 5 自分達のグループに対する市役所職員の方の評価を聞く。	☆ 各グループの資料は事前に配っておく。 ☆ 発表するとき、聞くときの留意事項を確認し、話し合いの前提がきちんと整うようにする。 ☆ 発表を聞きながら、各グループの参考になる点や疑問点を個人で書かせておく。 ◎ 資料をもとに相手にわかりやすくまとめ、発表することが出来たか。 ☆ 討論に入る前に、グループごとに話し合いの時間を作り、個人ごとに書いた疑問点などをまとめさせる。 ☆ できるだけ資料をもとに、また、視点を絞っての話し合いになるようにする。 ☆ グループ提案についてだけでなく、討論の内容や全体的な方向性についても助言をいただく。
終 末 5 分	6. まとめ	6 討論や市役所職員の方からの評価から、自分達の考えが深まった点を振り返り、発表する。	☆ 自分のグループの提案を見直しさせ、本時の学習した内容に関して学習シートにまとめさせ発表させる。 ◎ 本時の学習を生かし、よりよい久慈市像について考えることが出来たか。